



いわての食卓をつくる

# 澤口農園

食べるひとに正直な野菜づくり

 **OUR MISSION**   
  

食べ物をつくる  
仕事の楽しさを  
伝える



4月頃に定植をした後は、薬品を散布したり、専用の虫を使って害虫対策を行います。

防除  
のしごと



成長が進んできたら、ツルが絡まって成長を妨げないように方向を調整する「誘引」を行います。

手入れ  
のしごと



ミニトマトは6月頃、キュウリは5月頃から、  
11月上旬まで収穫作業を行います。

収穫  
のしごと



選果  
のしごと

ミニトマトは選果機を使い4つのサイズに、  
キュウリは手作業で4段階の大きさに分けます。



選果後は重さを量りパックに詰めたり、大き  
さごとに段ボールに詰め出荷の準備をします。

パック詰め  
のしごと



出荷  
のしごと

詰め終えた野菜はトラックに積み込み、午前中のうちにJA(農業協同組合)に出荷します。



# 澤口農園がつながる仕事・業界

## J A 農業組合

収穫後、選果、  
パック詰め作業を終えた野菜は、近くの農業協同組合に出荷しています。



澤口農園

## 地元小学校の学校給食

月2~4回、地元小学校から注文を受けて、学校給食用に野菜を提供しています。



どんな会社なの？



## 澤口農園

盛岡市でキュウリ、ミニトマト、水稻などを栽培する専業農家。澤口聡さんは、岩手県立盛岡農業高等学校を卒業後、北海道と岩手県の農業短大へ進学。北上市の岩手県農業研究センターでの勤務を経て、家族経営をしている実家の農家を継いだ。盛岡農業青年クラブの立ち上げの発起人として初代会長を務めるなど農業普及の環境づくりに尽力する。10年ほど前から農業研修生を受け入れを始めるなど、新規就農者の育成にも力を入れている。

所在地 盛岡市上太田大堀60

設立 1999年（農家を継ぐ）

代表者 澤口 聡

従業員数 7名（男性3名、女性4名）収穫時期のパート従業員含む

業種 農業

事業所 盛岡市